

## 「山古志復興新ビジョン」 最終報告書の取りまとめについて

- ・ 5月中～下旬の公表を目標として、山古志復興新ビジョン研究会の最終報告書「山古志復興新ビジョン」を取りまとめる。
- ・ 3月に公表した中間報告をベースとして、次のような項目を加筆し、各種関係資料とともに取りまとめる。

### < 本 編 >

#### (加筆する事項)

1. 中越地域震災復興メモリアルコース(案)(震災メモリアルの提案ともなるマップ)

2. リーディング・プロジェクトの推進方策(アクションプラン)

(1) 「結び(交流)のむらづくり構想」 株式会社 山古志村の設立と事業展開

「結び(交流)のむらづくり構想」の考え方

背景、目的、将来の姿、実現への課題 等

推進組織としての「株式会社 山古志村」の提案

- 1) なぜ株式会社か(ねらい、展開イメージ)
- 2) 株式会社設立にあたってのポイント(住民主導、住民参加、開発的組織)
- 3) 設立までのロードマップ(研究会からの発展形として2～3年後の設立をめざす)

「株式会社 山古志村」設立と事業展開のアクション・プラン

- 1) 母体となる「元気な山古志研究会」の発足と活動(学習、視察、検討)
- 2) 「元気な山古志研究会」による事業開発とテストマーケティング活動  
(ブランド化、オーナー制度、施設運営 等)
- 3) 「株式会社 山古志村」の設立(設立計画、住民による出資のしくみ)
- 4) 「株式会社 山古志村」の事業展開(共同事業、起業支援)

構想推進にあたっての地域との連携について

- 1) 関係機関等との連携(施設の利用、運営委託等)
- 2) 期待する地域等からの支援について(出資、事業への協力等)

構想推進にあたっての留意点と対策について

想定される課題や問題点とその対応方策について

(1円起業による商号のプロテクト等)

(2)「防災フロンティアエリア構想」 NPO法人 山古志村の設立と事業展開

「防災フロンティアエリア構想」の考え方

背景、目的、将来の姿、実現への課題 等

推進組織としての「NPO法人 山古志村」の提案

- 1)なぜNPO法人か(ねらい、展開イメージ)
- 2)NPO法人設立にあたってのポイント(外部のノウハウの活用、住民との連携)
- 3)事業推進スケジュール(想定)

「NPO法人 山古志村」を視野に入れた事業展開のアクション・プラン

- 1)母体となる住民団体(山古志防災ネットワーク)の発足と活動  
震災メモリアルマップの作成調査、コース等の設定、施設等への提言
- 2)防災関係者とのネットワークによるNPO法人化  
組織計画、事業計画(長岡商工会議所との連携)、申請
- 3)事業計画と住民との連携について(事業への住民参加の実現・推進)

構想推進にあたっての地域との連携について

- 1)関係機関等との連携(調査や施設運営委託等)
- 2)地域の団体や大学等との連携
- 3)期待する地域からの支援について(会員、協賛金等の出資)

構想推進にあたっての留意点と対策について

< 資料編 >

最終報告の資料編は、本編を検討するにあたって参考にしたデータや資料をつけるものとし、次のような構成を考えている。

目次(案)	中間報告に追加する資料
資料1. 山古志村の概況	
資料2. 山古志村の被害状況	
資料3. アンケート調査結果	
資料4. ヒアリング調査結果	ヒアリング追加
資料5. 他地域における災害復旧・復興事例	
資料6. 災害復旧事業および災害関連事業	
資料7. 住宅再建支援	
資料8. 地域産業の復興及び支援策検討の参考資料	
資料9. 地域資源・復興メモリアルコース検討	